８月２日（金）１０：００～１１：３０　　会場：本校会議室

「夏季研修会」

【外部からの参加者】　４５名
【内容】「言葉の育ちと発達段階における関わり」
【講師】本校実習助手　髙木　綾子（言語聴覚士）

今年度は小、中学校、特別支援学校、その他関係機関の先生方にご参加いただき、4年ぶりに対面での研修を開催することができました。

本研修では、相手の意図を理解する段階にある児童とのやり取りや、言葉を通して自己理解を深める学習など、実践事例を交えて紹介しました。様々な教材の紹介も行い、実際に見ていただくことができました。

【感想】研修参加者のアンケートより

・言葉が出るまでの発達について、口腔(舌)の動きや認知機能の側面から知ることができて勉強になりました
・言語発達を促す、摂食機能を高めるという視点以外でも、手や口の感覚を育むことの重要性を知ることができました。
・ことばを育てるにはまず、「相手に伝えたい」という思いを育てないと先には進まないということ、 障害の特性・認知特性に応じた支援では叱ることは効果がなく、相手に響く伝え方で関わることが大事だということを学びました。